

事務事業名		道路愛護事業交付金		所属部	建設部	所属課	建設工務課		
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	公共維持G	課長名	松村直樹		
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	福間伸英	電話番号	0854-40-1063 (内線) 2473		
	目的対象	市民	意図 市内及び市外へ安全で便利に移動できる。	予算科目	会計	款	大事業	大事業名	道路施設管理事業
	基本事業	〈035〉道路の維持管理			項	目	中事業	中事業名	道路愛護事業交付金
目的対象	道路利用者	意図 安全に移動できる。	目	101025	業名				

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
道路河川愛護作業参加者(雲南市各世帯からの参加者)	・ボランティア愛護活動による道路、河川の維持管理の実施。 ・日常的な道路愛護活動の気運醸成。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返( H22 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	・道路河川愛護作業による道路河川等の維持管理を住民参加で行う。 ・道路河川愛護作業の実績に基づく交付金支払
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
住民参加による道路河川愛護作業実施に係る交付金支払 ①1回目5月～9月、2回目10月～12月に自治会等で実施 ②自治会から市へ愛護作業実績の報告 ③自治会へ交付金支払	・旧6町村で基準が異なっていた参加者補助金等を平成22、23年度の2箇年度を かけ「愛護作業交付金」とし、交付基準の統一を図った。 ・27年度から交付金の単価を見直し、改善を図った。 ・平成29年度に要綱の見直しを図った。また、機械借上げ(軽トラック・ダンプトラック・バックホウ)経費を交付金の対象とした。 ・令和2年度より2回目の作業単価、草刈機・チェンソーの単価を1回目と同額に見 直した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (計画)
ア 交付金交付団体数	団体	401	398	412	412
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
道路愛護交付金 大東2,953千円、加茂2,158千円 木次 2,123千円、三刀屋2,586千円 吉田412千円、掛合457千円 合計10,689千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	9,653	10,318	10,689
		事業費計	千円	9,653	10,318	10,689

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・地域住民と市との協働で道路・河川の維持管理が実施できている。
② 事業実施するうえでの課題	・高齢化や過疎化等により作業実施が困難になりつつある自治会も見受けられる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・高齢化などにより以前のように作業ができなくなったという意見を自治会から聞いている。機械借上げを活用するなどして、地域内の除草作業についてできる範囲で継続していけるような取り組みの工夫が必要である。